

表1 フランス国内で実施される水素分野における「欧州共通利益に適合する重要プロジェクト（IPCEI）」の参加企業リスト

項目		生産	輸送・貯蔵・流通	燃料電池	需要促進のための取り組み	インフラ
Hy2Tech	2022年採択	Elogen Genvia John Cockerill MacPhy	Arkema Faurecia（現Forvia） Plastic Omnium	Alstom Arkema Genvia HYVIA Symbio	Alstom HYVIA Plastic Omnium	
Hy2Use	2022年採択					Air Liquide TotalEnergiesとEngie（MassHyliaプロジェクト）
Hy2Infra	2024年採択	Lhyfe				
Hy2Move	2024年採択	Gen-Hy Cube Michelin	Airbus	Hydrogène de France Michelin	Airbus Hydrogène de France	

（出所）欧州委員会のプレスリリースを基にジェトロ作成

表2 フランス国内で実施される水素分野における「欧州共通利益に適合する重要プロジェクト（IPCEI）」概要

プロジェクト主体	分類	プロジェクト内容
Elogen	生産	プロトン交換膜（PEM）電解の革新的スタックおよび部品開発のR&Dを強化しており、バンドーム（ロワールエシェール県）へのギガファクトリーを設置。
Genvia	生産	産業廃熱を利用した新世代の高温電解槽を開発。南仏ベジエにギガファクトリーを設置。
John Cockerill	生産	大型アルカリ電解槽（容量は当初5MW、将来的には最大20MW）を開発。ベルギーおよびフランスにおいて大規模生産を目指す。
McPhy	生産	アルカリ電解槽のギガファクトリーをベルフォールに設置、2024年6月に開所。
Lhyfe	生産	ルアーブル近郊のゴンフルビルロルシュールに100MWの電解槽を設置。2028年の稼働開始を予定。
Gen-Hy Cube	生産	水素ステーション向けモジュール式アニオン交換膜（AEM）電解プラットフォームを開発・生産。
Michelin	生産	PEM燃料電池およびAEM電解槽向けの革新的触媒膜の開発・生産。
Alstom	利用、燃料電池	地方鉄道や貨物牽引車、作業用機関車向け燃料電池システムや関連部品（水素タンクなど）を開発。
Arkema	燃料電池、貯蔵	モビリティ向け水素生産・貯蔵・輸送・利用用の高性能ポリマーや複合素材を開発・生産。
HYVIA	利用、燃料電池	燃料電池商用車を開発・生産。
Symbio	燃料電池	ローヌ県サンフォンに商用車、バス向けの燃料電池製造のギガファクトリー「SymphonHy」を開所。
Hydrogène de France	燃料電池	貨物電車、船舶向けや、発電用の高出力の燃料電池を製造。ボルドー近郊ブランクフォールに工場を開所。
Forvia	貯蔵	気体水素用のカーボンファイバー製タンク、水素の極低温貯蔵用タンクの開発・製造を目指す。
Plastic Omnium	貯蔵	モビリティ向けの高圧水素タンク開発・製造を目指しており、タンク素材のリサイクルソリューションも開発。
Airbus	貯蔵	液体水素タンクの開発、中距離便向け水素飛行機のスラストモジュールを開発。
Air Liquide	インフラ	ノルマンディ地域圏において200MWの電解槽を設置。
TotalEnergies/Engie	インフラ	TotalEnergies運営の製油所に120MW級の電解槽を設置、グリーン水素を生産し、バイオ燃料生産に用いる。

（出所）各社プレスリリースやニュース記事を基にジェトロ作成